

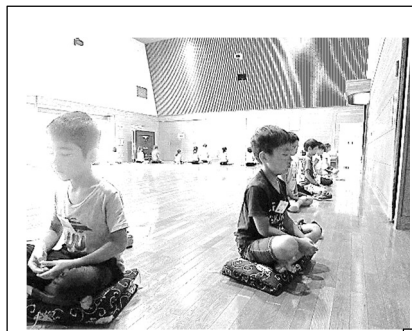
えがお

友だちとかかわり学ぶ

公民館おいで塾

今年も全公民館において「おいで塾」が実施され、子どもたちの元気な声と笑顔があふれていました。各公民館の実施内容は左記のとおりです。

館名	名称	期日	のべ人数	特徴的な内容
伊那	夏休みおいで塾	7/30(月)～8/3(金) 5日間	585人	午前 夏休みの学習・絵・習字等 午後 歴史博物館見学・ニュースポーツ体験・工作・おやつ作り
富県	夏休み富県おいで塾	7/26(木)～8/1(水) 5日間	238人	午前 学習・雑巾縫い・座禅・プール・おやつ作り 午後 映画鑑賞・工作・おやつ作り・バーベキュー・花火大会など
美篤	おいで塾鹿嶺高原宿泊	7/25(水)～7/27(木) 3泊3日	60人	献立決め・火おこし機造り・材料買い出し・川遊び・周辺散策・花火・カヌー教室
手良	てらとびあへおいで塾	7/31(火)～8/3(金) 4日間	180人	午前 座禅・プール・てらこや教室(論語) 午後 百人一首・手良こども体操・竜おどり・映画鑑賞
東春近	宿泊自然体験in高遠	8/6(月)～8/9(金) 4泊4日	63人	スポーツ交流・守屋山登山・キャンプファイヤー 高遠町歴史学習・野外炊飯・川遊び
西箕輪	通学合宿	6/17(日)～6/22(金) 6泊6日	174人	公民館から通学、食事づくり、みはらしの湯、学習
	おいで塾	8/6(月)～8/8(水)	79人	(午後のみ) 夏休み帳等の学習・おやつ作り
西春近	西春近てらこや塾	7/26(木)～7/30(月) 3日間	60人	午前 夏休み帳等の学習 午後 体験学習(のろし学習、工作、手品、映画)・お楽しみ
高遠	進徳館夏の学校	7/26(木)～7/31(火) 4日間	236人	午前 自学(宿題・読書)・論語の素読・お話・灯籠づくり 午後 (最終日) 灯籠を飾って、バイオリンの演奏鑑賞
長谷	はせっこサマースクール	7/30(月)～8/2(金) 4日間	122人	午前 坐禅体験・宿題、読書 午後 童謡唱歌教室・工作・スラックライン、川遊び等



真剣な座禅 (富県)



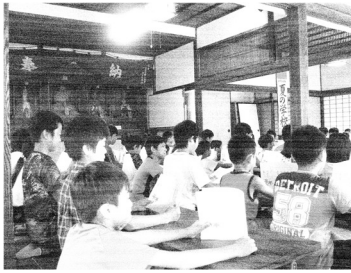
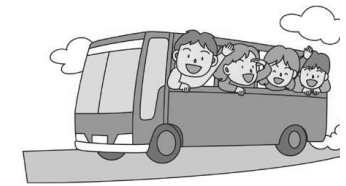
暑い中でも百人一首 (手良)



ジオパークの学習 (西箕輪)



ニュースポーツを楽しむ (伊那)



いにしへの学問を学ぶ (高遠)

楽しく充実した活動のようす



涼しいカヌー体験 (美篤)



平成30年度
No. 2
8月28日

伊那市
よりよい
教育環境
推進連絡会



新山小学校

ちっちゃな学校ででっかい夢を

学校教育目標

たくましく

心豊かな

新山っ子

小規模特認校の指定を受けて十年目を迎えました。少人数であるからこそできること、豊かな自然の中にある新山だからこそできること、ICTの効果的な活用をはじめ、新山小学校の強みを最大限に発揮しながら、全校児童数四十二名と教師、地域が一つになり、重点具体目に向けて日々取り組んでいます。

互いの考えを伝え合う
「全校で討論する月目標振り返り集会」
「自分の考えを伝え合い、広げ深め合う」機会の一つとして、毎月全校集会を行ってまいります。代表委員が中心となって会進行し、その時々にあった目標設定と、目標の実現状況を振り返ります。四月の集会から、高学年の発言につられて、一年生も挙手をする姿も見られました。友の声に耳を傾け、その言葉につなげて発言する子どもたちですが、根拠を明らかにし、自分の意見を述べることは、国語の授業をはじめ普段の授業の積み重ねの成果だと思います。集会を通して一人ひとりがつながっていきます。



地域・保育園とつながる

「園児や地域の方と一緒にカレーパーティー」



七月に児童会主催「カレーパーティー」が開かれました。このカレーパーティーは新山保育園と合同で行われます。低学年と園児はピーラーを使って野菜の皮むきに取り組みました。毎年行っているからでしょうか、とても手際がよく、自分たちでどんどんむいていました。高学年は、包丁を使ってどんどん野菜を切っていました。かまどは、今年は猛暑のため日差しを遮ることのできる場所へ五、六年生が前日に準備しました。CSの方々が見守るなかで、三つに分かれたグループそれぞれがこだわりの味付けから、とてもいい香りが漂っていました。その後、会食となりました。園児、そして招待した地域の方々と一緒に食べたカレーは格別でした。

【登下校時の安心・安全の取り組み】

新山小学校は全戸PTAです。地域の方に「新山っ子は地域の宝」として、様々な場面で温かく見守っていただいています。登下校時も見守り隊(新山安心パトロール)を中心にお声がけいただいたり、登下校の様子等で気づいたことを学校に連絡していただいたりしています。子どもたちは集団下校をしており、安全確保の観点から「さつさと帰る」を合い言葉に、リーダーを中心に黙々と歩いて登下校しています。年度当初には、「登下校途中の防犯訓練」を実施するとともに、学校職員も下校時見回りパトロールを行い、安全確認をするようにしています。





高遠北小学校

学校教育目標

なかよし学校 がんばり学校

- 平成三十年度の重点
「一人一人が力をつけ、みんなで高まっていく」
- 取り組みの柱
○なかよしの輪を広げよう
○学び合い、発言力と表現力を高めよう
○心と体を鍛えよう

自然・歴史・地域から学ぶ 高遠北小学校の子どもたち

○自然で学ぶ日

五月に信州高遠青少年自然の家へ出かけて、自然の中で思いきり学んできました。四つの縦割り班で活動しました。あいにくの雨でしたが雨天決行です。自然の中で過ごすわけなので、もちろん雨の日だってあるわけです。その雨の中で、どう楽しむかも学びなのです。



カレー作りは屋根のある炊事場で、予定通りに行われました。火をおこす人、お米を炊く人、野菜を切る人と、どの子どもも大事な役割を任されています。一年生だからといって、見て学ぶということはありません。教えてもらいながら、火だっておこします。包丁だって使います。「木の下に空気を入れないうまく燃えないよ。」そんなアドバイスの声があちらこちらから聞こえていました。高学年の子に見守られながら、大役を果たした終えた低学年の子たちは、自信に満ちあふれていました。自分たちが作ったカレーは、何とおいしかったことでしょう。たくさんおかわりもしていました。

○舞踊

「孤軍高遠城」

毎年、四・五・六年生は、地域の方を講師にお迎えして「孤軍高遠城」という舞踊を踊ります。織田軍と武田軍が戦った「高遠城の戦い」を題材にした舞踊です。歴史的な意味を教えていただき、細かい動きを練習しました。「高遠城下祭り」や「運動会」で披露します。



先日、平成七年から交流を続けている、三宅小学校の五年生十名が本校を訪れた時にも、高遠北小は「孤軍高遠城」を、三宅小は古くから三宅島に伝わる「木遣り太鼓」を披露し合い、お互い故郷の歴史や伝統に触れることができました。

登下校時の安心・安全の取り組み

- ① 通学路の安全点検
- ② 安全見守り隊用の帽子を着用しての登下校の見守り
- ③ 高遠町交番、安協、PTAの方の協力による交通安全教室の実施
- ④ 伊那警察署、スクールサポーターによる不審者対応教室の実施
- ⑤ 猿等の野生動物対策として登下校の見守り
- ⑥ 児童による毎月初めの通学班会と集団登下校(通年)

北小子どもを守る会

よりよい教育環境推進協議会として「北小子どもを守る会」があります。高遠北小学校および学区全体に関わる教育環境について考え、対応する組織で、地域の児童の安全と健全育成の向上を目的としています。六月に、地域・保護者の皆様にお集まりいただき、地区ごとに子どもたちの安全に関わることや地区の行事、地域の子どもの様子等について話し合いました。子どもたちのために貴重なご意見をたくさんいただきました。地域の皆様に見守っていただいているおかげで、子どもたちも安心して学校生活をおくることができます。



伊那中学校

『地域のことを、地域のひと、地域のやり方で学ぶ学習』

- 【教育理念】 「愛」(あい)
- 【学校目標】 志を持って 勉強せよ 親切に

一 地域で起業している方のマインドを学ぼう

- ① 生徒が自分の将来に向けて知りたいことや、日常生活で困っていることへの対処などを地域で起業している方に質問し、その方々がどんな考え方で生きているのかを知る。
- ② 起業について知るのではなく、起業するマインド(生き方、考え方)を知る。

以上のような目的と内容で実施しました。

地元で起業したり、事業を継いだりして活躍している二十三名の方に、取り組んでいる仕事や暮らしの中で大切にしていることを熱く語っていただきました。子どもたちは、「継ぐことは更によくすること」「好きなことを自分らしく」「どんなにどんな底に落ちても、また立ち直れる」などの考えを受け止め、自分のものにしていきました。

本年度は、子どもたちの活動の後、職員研修として、起業している方の願いやマインドを学ぶ機会も設けました。学校に期待することと同時に、起業家の方、地域の方が、子どもたちをどう育てたいかも語り合いました。一緒に育てていきたいという考えを学ばせていただき、学校を出て学ぶ機会を一層大切にしていきたいと思えます。



二 道草の日

ぐとにかくのんびりと楽しみながら帰ることが一番の目的

- ① 「ふるさと伊那谷学」では、地域を知ることが重要なポイントで、地域を知ることの基盤はまず自分の身近な地域を知ること。まずは、通学路の周辺を知ること
- ② 友達とゆっくり話しながら帰ることは、中学校時代のよき思い出になる

以上を目的として実施しました。(二年目)

「最近では部活などで、忙しくて遊べなかったのでも、いつも私は下を向いて歩くことが多い。他にもいろんな発見があって、楽しかったです。」などの感想があり、純粋に道草を楽しみながら下校しました。この活動は、よりよい教育環境推進協議会の皆様や、地域の方からも、よい評価をいただいています。

三「川柳写真展」「飯田線リレー号」伊那フェス

「二」で紹介した「道草の日」(昨年)は、昨年冬にも二学年が実施、三月「川柳展・写真展(シマダヤ)」で伊那市の魅力を紹介し、自分のふるさとを伝える機会に繋がっています。ご覧になった方々から、「制服を着ていると一つの集団に見えてしまいがち。それぞれにこんな芯を持っている」「中学生の自然を見る目・思いを作品が伝えていて感動」「自分たちの住む伊那市ふるさとを学ぶ学習を、人と繋がりがながら、これからは自分と自分たちのふるさとを大切に」など、この学習の意義を周りの方々から認められ、自分たちも実感しています。

七月末・八月末「飯田線リレー号」歓迎イベントに参加します。新たな写真・川柳で、イベント参加の皆さんに伊那市の魅力を紹介します。

春を待つ人も自然も 大空も
更に、「伊那フェス」でも伊那市の素晴らしさを紹介します。ぜひ、ご参加ください。



伊那フェス開催

【9/22(土)】

- KANTARO マーケット
- KANTARO ミュージアム
- KANTARO ステージ